



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター：認定コースのご案内
Author(s)	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター事務局
Issue Date	2013
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/52364
Type	book
File Information	MuseumMeister_Guidebook_2013.pdf



GUIDEBOOK

WWW

The Hokkaido University Museum

**MUSEUM
MEISTER**

北海道大学総合博物館

ミュージアムマイスター

認定コースのご案内

2013年度



The Hokkaido University Museum

MUSEUM MEISTER

MUSEUM MEISTER
— HOKKAIDO UNIVERSITY —

INDEX

- 01 キミもマイスターをめざそう！
- 02 ミュージアムマイスター
認定コースの概要
- 03 開講科目一覧
- 04 開講科目の紹介
- 06 特集
「マイスターに聞いてみよう！」
- 08 登録申し込みについて

キミもマイスターを めざそう！

マイスターとは「巨匠、達人、師匠、匠(たくみ)、親方」といった意味のドイツ語です。日本語にすると語感とはさまざまですが、その道をきわめたプロに対する尊敬を含めた称号です。ミュージアムマイスターは、しかしながら、道をきわめる必要も、プロである必要もありません。肝心なのはむしろ、何でも見てやろうという旺盛な好奇心と、アマチュアとしての新鮮な視点です。平成21年度から認定コースがスタートして、今日までに20名のマイスターが誕生しています。マイスターは博物館に限らず、学内外のイベントでの司会進行をはじめ、いろいろな形で活躍しています。

大学での勉強では、自分の専門分野を深めることとならんで、専門外の分野にも関心を持って視野を広げることが重要です。北大の教育理念である「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」とは、まさにそのような人材の育成をめざすものです。博物館を「知のフィールド」として、学生生活の目標にマイスターというプラス・アルファを掲げてみませんか？



北海道大学総合博物館 館長
津曲 敏郎

ミュージアムマイスター 認定コースの概要

北大の学生が学ぶ科目の中から、北大総合博物館が認定した科目を履修し、さらに、博物館が主催する学生企画運営活動に参加するなどして、一定の基準クレジットを取得した学生を、北大総合博物館館長が「ミュージアムマイスター」として認定します。

●受講方法

受講希望授業科目の種別に従って、下記の通り受講申請を行ってください。

A 全学教育科目
(総合科目、一般教育演習、主題別科目)
高等教育推進機構・教務課に、指定の期日までに履修届を提出してください。

B 学部専門科目
他学部学生が履修する場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する旨をご連絡ください。(履修は所定の申請を行えば認められますが、卒業認定に関わるかは学部によって異なります。マイスターコースのクレジットは取得することができます。)

C 大学院専門科目・大学院共通授業科目
学部学生が履修する場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する旨をご連絡ください。また、ミュージアムマイスター事務局へもご連絡ください。(単位は取得できないため、履修届を提出する必要はありません。マイスターコースのクレジットは取得することができます。)

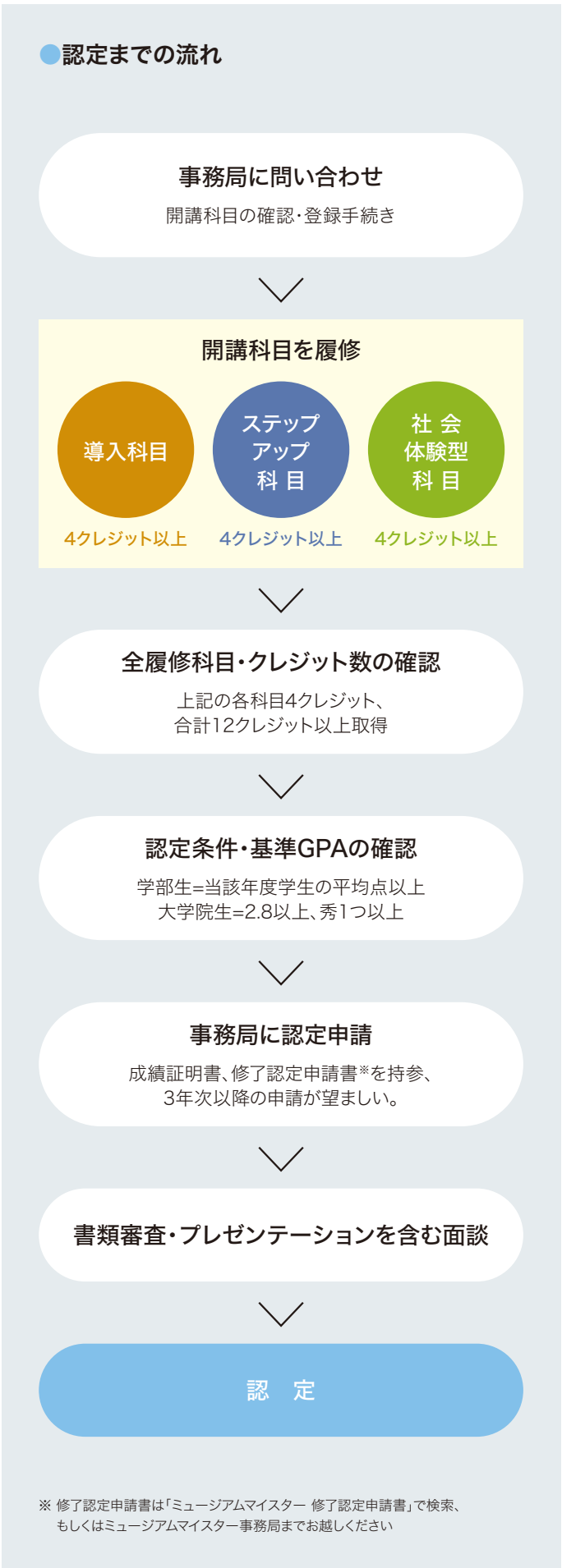
D オフカリキュラム・プログラム
ミュージアムマイスター事務局までお問い合わせください。

◎クレジットについて

クレジットはミュージアムマイスターコース独自のものです。大学院授業やオフカリキュラムのプロジェクトで認定されるクレジットは、卒業認定に関わる単位とは異なりますので注意してください。

開講科目一覧

●下記の科目情報は平成25年3月1日現在のものです。変更になる場合もありますので、開講学期・曜日・時間についてはシラバスも必ず確認してください。



	科目種別	授業名	学期	曜日(時間)	責任者名	クレジット数
導入科目	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] 生物の多様性	1学期	水曜(5)	柊原 宏	1
	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] フィールド科学への招待	1学期	金曜(5)	四ツ倉 典滋	1
	A 全学教育科目(総合科目)	[人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在	2学期	木曜(5)	山崎 幸治	1
	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] 大学博物館講座：北大自然史研究の系譜	2学期	金曜(5)	高橋 英樹	1
	A 全学教育科目(一般教育演習)	北大エコキャンパスの自然と人間：植物学入門	1学期	木曜(5)	高橋 英樹	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	北大エコキャンパスの自然と歴史	1学期	金曜(5)	高橋 英樹	2
	B 文学部専門科目	博物館概論	1学期	水曜(1)	佐々木 亨	2
	B 文学部専門科目	博物館教育論 (対象学年：学部4年以外) 教育学概論 (対象学年：学部4年)	1学期	木曜(1)	湯浅 万紀子	2
	B 文学部専門科目	博物館学Ⅰ (対象学年：学部4年) 博物館資料論 (対象学年：2、3年、院生)	1学期	金曜(5)	加藤 克	2
	B 文学部専門科目	博物館学Ⅱa (対象学年：学部4年) 博物館経営論 (対象学年：学部2、3年、院生)	2学期	火曜(5)	佐々木 亨	2
ステップアップ科目	B 文学部専門科目	博物館学Ⅱb (対象学年：学部4年) 博物館情報・メディア論 (対象学年：学部2、3年、院生)	1学期	水曜(5)	高橋 英樹	2
	B 文学部専門科目	博物館展示論 (対象学年：2、3年、院生)	2学期	金曜(5)	山崎 幸治	2
	B 文学部専門科目	博物館資料保存論 (対象学年：2、3年、院生)	1学期	火曜(5)	鈴木 幸人	2
	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] ヒゲマ学入門	2学期	水曜(5)	増田 隆一	1
	A 全学教育科目(一般教育演習)	フィールド体験型プログラム ー人間と環境科学ー [1]	1学期	集中	荒木 肇	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	フィールド体験型プログラム ー人間と環境科学ー [2]	2学期	集中	荒木 肇	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	地域と大学 北大フィールドセンター施設を活用して地域を学ぶ	1学期	集中	荒木 肇	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	遺跡を探そう	1学期	集中	加藤 博文	2
	A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界	1学期	月曜(5)	吉崎 元章	2
	A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] PMFの響き	1学期	木曜(5)	三浦 洋	2
社会体験型科目	A 全学教育科目(主題別科目)	[歴史の視座] ヒトとは何か：進化・歴史・文化	2学期	月曜(5)	加藤 博文	2
	A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] 美術館という現場	1学期	水曜(2)	北村 清彦	2
	B 文学部専門科目	北方人類学演習：フィールドワーク実践	1学期	火曜(3)	佐々木 亨	2
	B 水産学部専門科目	水圏生物学	1学期	火曜(3～4)	今村 央	2
	B 水産学部専門科目	魚類学	1学期	月曜(1)	矢部 衛	2
	B 水産学部専門科目	ベントス学	2学期	月曜(1)	五嶋 聖治	2
	C 文学研究科専門科目	北方文化論特殊講義：ミュージアムのマネージメント	2学期	火曜(3)	佐々木 亨	2
	C 大学院共通授業科目	博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資料学	2学期	金曜(5)	高橋 英樹	2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	バラタクソノミスト養成講座 (北大で開催するもののみ)	—	随時*	—	1～2
	C 文学研究科専門科目	北方人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化	1学期	月曜(4)	佐々木 亨	2
	C 文学研究科専門科目	人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化	2学期	月曜(3)	佐々木 亨	2
	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論 (学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価)	1学期	木曜(4)	湯浅 万紀子	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価				
	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論 (博物館における映像表現)	1学期	集中	藤田 良治	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論Ⅱ 映像表現 夏の陣				
	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論 (ミュージアムグッズの開発と評価)	1学期	水曜(4)	湯浅 万紀子	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価				
	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論 (映像制作とスノーボード)	2学期	集中	藤田 良治	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論Ⅳ 映像表現 冬の陣				
	C 大学院共通授業科目	博物館学特別講義Ⅱ：展示・教育・活動評価	1学期	火曜(3)	湯浅 万紀子	2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	学生参加プロジェクト (展示制作、展示解説など)	—	随時*	湯浅 万紀子	1～2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	卒論ポスター発表会	—	2月下旬～ 3月上旬	湯浅 万紀子	2

※ 受講者募集の案内は、北大総合博物館HPに掲載されます

開講科目の紹介

導入科目

環境・人間・文化に関する基礎知識を学習する科目や導入的なフィールド体験型科目。
博物館の存在意義や活動についての基礎知識を学習する科目。



全学教育科目(総合科目)

- ・[環境と人間] 生物の多様性
- ・[環境と人間] フィールド科学への招待
- ・[人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在
- ・[環境と人間] 大学博物館講座：北大自然史研究の系譜

全学教育科目(論文指導科目)

- ・北大エコキャンパスの自然と人間：植物学入門
- ・北大エコキャンパスの自然と歴史

文学部専門科目

- ・博物館概論
- ・博物館教育論
- ・教育学概論
- ・博物館学Ⅰ
- ・博物館資料論
- ・博物館学Ⅱa
- ・博物館経営論
- ・博物館学Ⅱb
- ・博物館情報・メディア論
- ・博物館展示論
- ・博物館資料保存論

ステップアップ科目

実物資料の扱い方やフィールドワークの方法を学習する科目や講座。
博物館の活動と運営について理解を深める科目。



オフカリキュラム・プログラム紹介

●パラタクソノミスト養成講座

パラタクソノミスト(準分類学者)とは、学術標本・サンプルを正しく同定し整理する能力を有する者で、環境調査・環境教育において必要とされる人材です。本講座は、生物学分野、地球科学分野、考古学分野等の専門家をサポートする「準分類学者」の養成を目的とする、一般市民も受講できる講座です。各講座修了者に、「準分類学修了証」を発行します。

岩石鉱物野外採集会 (パラタクソノミスト養成講座)

講師：松枝大治(北海道大学総合博物館)

1泊2日の日程で開催されました。初日は、昆布森海岸で古第三系含石炭層地層の見学と玄能石を採集し、奔幌戸海岸の海岸部露頭付近でアンモナイト化石を採集しました。根室半島花咲の車石露頭付近で玄武岩質枕状溶岩の観察と沸石の産状観察を行い、本鉱物が採集可能な北海岸ノソカマップで沸石を採集しました。宿泊施設ではセミナーが開かれました。2日目は、摩周湖へ立ち寄りてから川湯硫黄山へ向かい、昇華硫黄結晶を観察し、旧阿寒温泉で温泉活動と沈殿物の観察を行いました。阿寒湖では泥火山ボッケの活動を観察し、白藤の滝で火山岩類の観察と採集を行い、オンネトーを見学し、Mn鉱床を観察しました。最後に、足寄町螺湾のシオワッカ湯の滝で温泉沈殿物を見学し、全日程が終了しました。



他には、岩石(初級・中級・上級)、鉱物(初級・中級・上級)、鉱床(初級・中級・上級)、木製品(初級・中級・上級)、きのこ(初級)、植物(初級)などがあります。開催は不定期ですので、北大総合博物館HPで確認してください。 www.museum.hokudai.ac.jp

社会体験型科目

博物館の展示や場を活用したプロジェクトの企画・運営・評価に参加したり、学生の研究成果を市民に向けて発信して市民と意見交換したりするなど、学生が博物館での活動を通じて社会とつながる実践と評価を行う科目やプロジェクト。



文学研究科専門科目

- ・北方人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化
- ・人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化

理学院専門科目

- ・博物館コミュニケーション特論(学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価)
- ・博物館コミュニケーション特論(博物館における映像表現)
- ・博物館コミュニケーション特論(ミュージアムグッズの開発と評価)
- ・博物館コミュニケーション特論(映像制作とスノーボード)

大学院共通授業科目

- ・博物館学特別講義Ⅱ：展示・教育・活動評価
- ・博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価
- ・博物館コミュニケーション特論Ⅱ 映像表現 夏の陣
- ・博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価
- ・博物館コミュニケーション特論Ⅳ 映像表現 冬の陣

総合博物館・オフカリキュラム

- ・学生参加プロジェクト(展示制作、展示解説など)
- ・卒論ポスター発表会

オフカリキュラム・プログラム紹介

●卒論ポスター発表会

北海道大学を卒業するさまざまな学部が、4年間の研究の成果についてA0サイズ1枚のポスターにまとめて発表します。学会での発表とは異なり、市民や他分野の学生にも理解できるようなポスターを作成し、わかりやすく説明することが求められます。事前に中間発表会を行い、教員の指導を受け、発表会に臨みます。



参加者の声

◎研究室内だけで卒業論文を完結させるのではなく、様々な分野の方に見ていただくことで、全く違った視点の意見やアドバイスをいただきました。理解の仕方も十人十色で、「この方はこう理解して下さるのだ」と様々な方に理解していただく楽しさを体験することができました。

◎普段研究室で質問されないようなことを尋ねられることで逆にこちらが気づかされる部分もあり、自身の研究をする意義を改めて深く考えさせられる非常に良い経験でした。

◎社会との接点を意識し、「何のためにこの研究をするのか」と考える必要がありました。自身の疑問から始まった卒論ですが、知識の吸収に気を取られ大切な部分を忘れがちでした。専門知識から離れ、一般の方の目線でシンプルに研究内容を整理し直し、わかりやすく伝える、発表会では、こんな貴重な経験ができました。

●学生参加プロジェクト

市民対象の大学博物館関連プロジェクトの企画・制作・運営・評価などに参加します。学生だけではなく、博物館教職員やボランティアと協働することで、コミュニケーション能力やマネジメント能力を養うことを目的としています。授業や普段の学生生活では味わうことのできない、貴重な社会体験の場です。

過去のプロジェクト：夏の企画展「藻類」展の展示解説／冬の企画展「クラーク博士と札幌の植物」の展示制作・展示解説／水産科学館土曜サロンの運営／卒論ポスター発表会の運営 他多数



冬の企画展「クラーク博士と札幌の植物」の展示制作 参加者の声

◎制作側と来場者の視点から異なることから生じる展示の難しさを実感しました。私は展示解説にも参加しましたが、作る側は展示内容を多く取り込み、来場者の視点を忘れがちになります。来場者の視点に立った展示を作る重要性を感じました。

◎パネルや館内マップの作成、会場設営、文章の校正などの作業を通じ、空間の使い方、小道具を使った展示の作り方を知ることができました。さらに、学術標本資料と一般の来館者をつなぐ作業を通じて、研究室にいただけでは分からない博物館の力を感じることができました。

マイスターに聞いてみよう！



三嶋 渉
理学部3年

理学部3年次にマイスターに認定

〔マイスター認定コースで取得した科目〕

- **導入科目：6クレジット**
博物館学Ⅰ
博物館学Ⅱ など
- **ステップアップ科目：4クレジット**
バラタクソノミスト養成講座 岩石鉱物野外採集会
バラタクソノミスト養成講座 昆虫初級 など
- **社会体験型科目：5クレジット**
展示解説入門
卒論ポスター発表会の運営 など

A 友人に誘われて学生参加プロジェクトに参加したことがきっかけで、ミュージアムマイスターコースに興味を持ち、登録しました。

B 最初に参加した「展示解説入門」が印象に残っています。自分の解説するところを受講生全員で見るビデオレッスンなどは、今でも恥ずかしいと思いますが、客観的にみるという点でとても得ることが多かったです。実際の展示解説では、来館者の方とコミュニケーションをとりながら、近い距離でお話できるのはとても楽しかったです。また、他の受講生の解説を聞くことも、刺激的でした。

C 認定後は、来館者80万人達成セレモニーや鈴木章先生と高橋はるみ道知事と市内の小学生との交流イベントであるサイエンスパークで司会を担当させていただきました。来館者80万人達成セレモニーでは、博物館の記念すべき式典に進行として、立ち会うことができ、と

ミュージアムマイスターに認定された4名の学生に、4つの質問に答えていただきました。学年も研究テーマも異なる学生達の生の声を聞いてみましょう。彼らは博物館内外のさまざまな場で、ミュージアムマイスターとして重要な役割を担い、活躍しています。

ても光栄でした。これからも北大総合博物館がどんどん盛り上がっていけばと感じました。サイエンスパークでは、イベントをスムーズに進行するだけでなく、参加者になるべく緊張せずに楽しめるような雰囲気づくりにとても苦労しました。実験が始まると、参加していた子どもたちから次々と驚きの声が沸いていたのが印象的でした。

D 文系と理系という枠のない中で、人と関わり、標本と関わり、たくさんの視点が生まれてくる、とても新鮮な活動ができると思います。博物館という少しとっつきにくいかもしれませんが、本物の標本などを見てその面白さを感じてみるとよいと思います。まずは、北大総合博物館に足を向けてみてはいかがでしょうか。

マイスターへの質問

A = 登録のきっかけ

B = 印象に残った科目と感想

C = 認定後の活動と感想

D = 新入生へのメッセージ



山本 大貴
理学部3年

理学部3年次にマイスターに認定

〔マイスター認定コースで取得した科目〕

- **導入科目：4クレジット**
今、大学博物館が面白い！"物"にこだわる科学
博物館学Ⅱ など
- **ステップアップ科目：4.5クレジット**
北大総合博物館で学ぼう！自然と人間
バラタクソノミスト養成講座 化石初級 など
- **社会体験型科目：4クレジット**
展示解説入門
「クラーク博士と札幌の植物」の展示制作 など

A 高校3年生の時に北大総合博物館を訪れ、偶然ミュージアムマイスターコースの紹介リーフレットを見つけました。リーフレットの中身を見て博物館を舞台とした様々な企画が行われていることを知り、その時はただ楽しそうだからやってみたいという気持ちでした。その後、入学して大学内に掲示してあるポスターを見て、さらに興味をもち登録しました。

B 学生参加プロジェクトの「展示解説入門」です。登録後に初めて来館者を対象に解説を行い、とても苦労したプロジェクトだったので一番印象に残っています。来館者への話し方や解説の内容などについて、なかなか思ったとおりにはいかず大変でしたが、その分学んだことも多く、この後に参加した『「Lepidoptera 空を舞う昆虫たち チョウとガの世界」の展示解説』や『「クラーク博士と札幌の植物」の展示制作』などに活かすことができたため、とても有意義なプロジェクトでした。

C マイスター認定後は鈴木章先生と高橋はるみ北海道知事をお招きしたサイエンスパークの司会を担当させていただきました。北海道庁と博物館が企画するイベントであり、マイスターとしての役割を果たすというプレッシャーもあり、とても緊張しましたが、参加した小学生の方たちが楽しそうに実験をしたり、鈴木章先生とお話をしているところを見て、素晴らしい企画に司会として参加できたことを本当に良かったと感じました。

D 博物館には文系の人、理系の人様々な専門の分野の人が集まります。その方々と会話をしたり展示解説を聴いたり、専門分野でない企画展示の展示解説をしたりする中で様々な体験ができます。大学はどうしても専門分野に知識が偏ってしまいますが、博物館での活動を通してより幅広い知識を得ることが出来ます。そして、何よりも知らないことを知ることができるというのは楽しいことが多いですね。



大西 凜
文学部4年

文学部3年次にマイスターに認定

〔マイスター認定コースで取得した科目〕

- **導入科目：6クレジット**
博物館概論
博物館学Ⅰ など
- **ステップアップ科目：4クレジット**
北大総合博物館で学ぼう！ヒグマ学入門
遺跡を探そう—合宿型発掘体験実習
- **社会体験型科目：4クレジット**
展示解説入門
「Lepidoptera 空を舞う昆虫たち チョウとガの世界」の展示解説 など

A 1年生で受講した「遺跡を探そう」でミュージアムマイスターコースを知り、面白そうだと思いました。学芸員になることを考えているため、コースを通し、博物館で活動することは将来に役立つと思いました。

B 登録のきっかけとなった「遺跡を探そう」です。考古学の奥深さ、発掘調査の面白さを体感したことで、考古学を専攻しました。学生参加プロジェクトの中では「展示解説入門」です。展示について勉強した内容を市民の方々に伝えるという経験は初めてでした。考古学の展示を解説し、思いもよらない質問に苦労したこともありましたが、新たなことを学び、考古学の面白さを再発見しました。この経験から、自分が調査・研究を行うことと、その成果をわかりやすく伝えることは同じくらい大切なことだという認識をもつようにもなりました。

C サイエンスパークというイベントで司会をし、小学生と鈴木章先生が交流する際の

橋渡し役を務めました。マイスターとなってからの初仕事で、マイスターとして活躍するという自覚を強く持ちました。自分の知らない世界を知りたいという小学生と、豊富な知識や経験で応える鈴木先生との交流を見て、博物館は展示だけではなく、様々な人が交流し、互いに学び合うことができる場所だということを改めて実感しました。今後、より多くの人に博物館の楽しさを伝え、交流していきたいと思います。

D 大学は研究内容が多岐にわたり、その中から興味のある内容を選んで勉強できるとても魅力的なところです。好きなことを勉強するチャンスは色々な所に隠れています。博物館を通して様々なことが学べるこのコースもチャンスの一つです。中には、これがきっかけで自分の専門が決まる人もいるかもしれませんが、皆さんも、様々なことに興味をもって積極的に挑戦し、大学生活を何倍も楽しく、充実したものにしてください。



木下 大旗
理学院修士2年

理学院修士1年次にマイスターに認定

〔マイスター認定コースで取得した科目〕

- **導入科目：8クレジット**
生物の多様性
博物館概論 など
- **ステップアップ科目：4クレジット**
博物館学特別講義Ⅰ（学術標本・資料学）
バラタクソノミスト養成講座 木製品初級 など
- **社会体験型科目：6クレジット**
「アラスカの恐竜展」の展示制作、展示解説
卒論ポスター発表会 など

A 博物館についての授業をいくつか受講していましたが、実務的なことも体験したいと思い、学部4年生のときに登録しました。

B 夏の企画展示『「アラスカの恐竜展」展示制作・展示解説』です。制作では博物館の展示がどのようにして作られていくのかを体験できます。解説ではアカデミックな内容を自分なりに表現するコミュニケーション力を育てることができます。私にとっては登録後に初めて参加したプロジェクトであった点と、自分の専攻分野とは少し異なっていた点で、参加した当初は大きな不安を感じていましたが、博物館のサポートを様々な場面で受けることができ、活動に対しての自信が得られました。やり甲斐が大きく、再挑戦したいと思うプロジェクトの一つです。

C 認定後すぐ、ノーベル化学賞を受賞した鈴木章先生と小学生たちとの科学交流イベントで司会を担当しました。イベントの進行

役は、普段では体験する機会のない大役で、とても緊張しました。ここでも博物館スタッフのバックアップが心強く、よい経験となりました。

D オススメは、「バラタクソノミスト養成講座」です。自分の進みたい分野に限らず、学んだことのない分野にも気軽に挑戦できます。また、多くのプログラムは1～2日で修了できるので、忙しい学生も手軽に受講できます。なにより、フィールド体験や、実物を扱う感覚を学べる点がこの講座の魅力だと思います。



登録申し込みについて

右の登録申込書をコピーするか、北大博物館のウェブサイト(www.museum.hokudai.ac.jp)からダウンロードし、以下の記入例を参考にして、必要事項を記入してください。

※注意事項
黒のボールペン、またはサインペンではっきりと記入してください。
書き間違い、記入漏れ等がないか、もう一度しっかりと見直してください。

臨時開講科目等の案内の参考にしますので、科目名の左側の欄に、該当するマークを記入してください。
該当する科目がない場合には、未記入でも構いません。

既に履修した科目＝○
現在履修している科目＝○

ミュージアムマイスター認定コース

登録申込書

フリガナ

ホクダイタロウ

氏名

北大太郎

〒060-0810

フリガナ

サッポロシキタク

札幌市北区

連絡先住所

キタ10ジョウニシ8チヨウメホッカイドウダイガク

北10条西8丁目 北海道大学

整理番号

申し込み年月日

平成25年4月20日

生年月日

昭和平成2年12月1日

性別

男女

学部・学年

文学部3年

学生番号

00000000

電話番号

011-706-4704

Eメールアドレス

taro@museum.hokudai.ac.jp

ミュージアムマイスター事務局 行

整理番号

私は、ミュージアムマイスター認定コースに下記の通り登録を申し込みます。

フリガナ

ホクダイタロウ

氏名

北大太郎

〒060-0810

フリガナ

サッポロシキタク

札幌市北区

連絡先住所

キタ10ジョウニシ8チヨウメホッカイドウダイガク

北10条西8丁目 北海道大学

履修科目について

リーフレットを参考に履修科目の左側の欄に、該当するマークを記入してください。

既に履修した科目＝○

現在履修している科目＝○

導入科目	ステップアップ科目	社会体験型科目
生物の多様性	○ 〔環境と人間〕ヒグマ学入門	北方人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化
フィールド科学への招待	フィールド体験型プログラムー人間と環境科学ー〔1〕	人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化
○ アイヌ・先住民研究の現在	フィールド体験型プログラムー人間と環境科学ー〔2〕	博物館コミュニケーション特論（学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価）
大学博物館講座：北大自然史研究の系譜	地域と大学 北大フィールドセンター施設を活用して地域を学ぶ	博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価
北大エコキャンパスの自然と人間：植物学入門	遺跡を探そう	○ 博物館コミュニケーション特論（博物館における映像表現）
北大エコキャンパスの自然と歴史	〔芸術と文学〕学芸員から見た美術の世界	博物館コミュニケーション特論Ⅱ 映像表現 夏の陣
博物館概論	○ 〔芸術と文学〕PMFの響き	博物館コミュニケーション特論（ミュージアムグッズの開発と評価）
博物館教育論	〔歴史の視座〕ヒトとは何か：進化・歴史・文化	○ 博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価
教育学概論	○ 〔芸術と文学〕美術館という現場	博物館コミュニケーション特論（映像制作とスノーボード）
○ 博物館学Ⅰ	北方人類学演習：フィールドワーク実践	博物館コミュニケーション特論Ⅳ 映像表現 冬の陣
博物館資料論	水圏生物学	博物館学特別講義Ⅱ：展示・教育・活動評価
博物館学Ⅱa	魚類学	学生参加プロジェクト（ ）
博物館経営論	ベントス学	卒論ポスター発表会
博物館学Ⅱb	北方文化論特殊講義：ミュージアムのマネージメント	
博物館情報・メディア論	博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資料学	
博物館展示論	パラタクソノミスト養成講座	
博物館資料保存論		

システム管理者記入欄

認証年月日

平成

年

月

日

登録番号

必要事項を記入した登録申込書を持参のうえ、ミュージアムマイスター事務局に提出し、登録手続きを行ってください。

北海道大学総合博物館
ミュージアムマイスター事務局

〒060-0810
札幌市北区北10条西8丁目
北大総合博物館2階 研究支援推進員室
TEL&FAX：011-706-4704 内線(4704)
開室日時：火～金 10:00～16:00

ミュージアムマイスター認定コース
登録申込書

ミュージアムマイスター事務局 行

私は、ミュージアムマイスター認定コースに下記の通り登録を申し込みます。

フリガナ

氏名

〒

フリガナ

連絡先住所

フリガナ

ホクダイタロウ

氏名

北大太郎

〒060-0810

フリガナ

サッポロシキタク

札幌市北区

連絡先住所

キタ10ジョウニシ8チヨウメホッカイドウダイガク

北10条西8丁目 北海道大学

整理番号

申し込み年月日

平成25年4月20日

生年月日

昭和平成2年12月1日

性別

男女

学部・学年

文学部3年

学生番号

00000000

電話番号

011-706-4704

Eメールアドレス

taro@museum.hokudai.ac.jp

ミュージアムマイスター事務局 行

整理番号

私は、ミュージアムマイスター認定コースに下記の通り登録を申し込みます。

フリガナ

ホクダイタロウ

氏名

北大太郎

〒060-0810

フリガナ

サッポロシキタク

札幌市北区

連絡先住所

キタ10ジョウニシ8チヨウメホッカイドウダイガク

北10条西8丁目 北海道大学

履修科目について

リーフレットを参考に履修科目の左側の欄に、該当するマークを記入してください。

既に履修した科目＝○

現在履修している科目＝○

導入科目	ステップアップ科目	社会体験型科目
生物の多様性	○ 〔環境と人間〕ヒグマ学入門	北方人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化
フィールド科学への招待	フィールド体験型プログラムー人間と環境科学ー〔1〕	人類学特別演習：ミュージアム展示制作と文化
○ アイヌ・先住民研究の現在	フィールド体験型プログラムー人間と環境科学ー〔2〕	博物館コミュニケーション特論（学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価）
大学博物館講座：北大自然史研究の系譜	地域と大学 北大フィールドセンター施設を活用して地域を学ぶ	博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価
北大エコキャンパスの自然と人間：植物学入門	遺跡を探そう	○ 博物館コミュニケーション特論（博物館における映像表現）
北大エコキャンパスの自然と歴史	〔芸術と文学〕学芸員から見た美術の世界	博物館コミュニケーション特論Ⅱ 映像表現 夏の陣
博物館概論	○ 〔芸術と文学〕PMFの響き	博物館コミュニケーション特論（ミュージアムグッズの開発と評価）
博物館教育論	〔歴史の視座〕ヒトとは何か：進化・歴史・文化	○ 博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価
教育学概論	○ 〔芸術と文学〕美術館という現場	博物館コミュニケーション特論（映像制作とスノーボード）
○ 博物館学Ⅰ	北方人類学演習：フィールドワーク実践	博物館コミュニケーション特論Ⅳ 映像表現 冬の陣
博物館資料論	水圏生物学	博物館学特別講義Ⅱ：展示・教育・活動評価
博物館学Ⅱa	魚類学	学生参加プロジェクト（ ）
博物館経営論	ベントス学	卒論ポスター発表会
博物館学Ⅱb	北方文化論特殊講義：ミュージアムのマネージメント	
博物館情報・メディア論	博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資料学	
博物館展示論	パラタクソノミスト養成講座	
博物館資料保存論		

システム管理者記入欄

認証年月日

平成

年

月

日

登録番号



システム管理者記入欄 認証年月日 平成 年 月 日 登録番号



MUSEUM MEISTER
— HOKKAIDO UNIVERSITY —

北海道大学総合博物館

ミュージアムマイスター事務局

〒060-0810

札幌市北区北10条西8丁目

北大総合博物館2階研究支援推進員室

TEL&FAX: 011-706-4704 内線(4704)

開室日時: 火～金 10:00～16:00

www.museum.hokudai.ac.jp